

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

533

自治功労章贈呈式

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	10	地域コミュニティの充実
施策	1	地域コミュニティの充実
取組方針	1	コミュニティ活動への支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	一般管理費		
	大事業	秘書課事業		
中事業	自治功労章贈呈式			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	秘書課	中村 佳照 435-1000
事業実施の根拠法令	和歌山市自治功労者礼遇条例		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	自治功労者に敬意と感謝の意を表するとともに、その実績を広く市民に紹介することで地方自治の発展に対する市民の意識の高揚を図る。		開市記念日の7月5日に贈呈式を開催し、自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった自治功労者に自治功労章を贈呈するとともに、90歳、100歳を迎える自治功労者に記念品を贈呈し礼遇する。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった22名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、平成31年及び令和元年中に80歳、90歳、100歳を迎える96名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった82名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、令和2年中に80歳、90歳、100歳を迎える85名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった36名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、令和3年中に90歳、100歳を迎える18名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった24名に対し、自治功労章を贈呈する。また、自治功労者のうち、令和4年中に90歳、100歳を迎える30名に長寿記念品を贈呈する。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった者に対し、自治功労章を贈呈する。また、自治功労者のうち、令和5年中に90歳、100歳を迎える者に長寿記念品を贈呈する。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,070	1,331	3,099	2,873	2,167	1,380	1,525	0	1,525	0
伸び率(%)	△16.8%	△4.6%	49.7%	115.9%	△30.1%	△52%	△29.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,799	5,477	4,857	4,220	3,801	4,034	3,801	0	0
	正規職員以外	170	141	205	205	215	215	215	0	0
	小計	5,969	5,618	5,062	4,425	4,016	4,249	4,016	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,070	1,331	3,099	2,873	2,167	1,380	1,525	0	1,525	0
所要人数(人)	正規職員	0.72	0.68	0.61	0.53	0.49	0.52	0.49	0.00	0.00
	正規職員以外	0.08	0.07	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
主な予算内訳	賞賜金 900千円、消耗品費 1,032千円、会場その他借上料 216千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
調査回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	2	2	1	1
			達成度(%)	100%	200%	200%	%	%
贈呈式開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
自治功労章贈呈式における自治功労章受章者数		人	目標値	22	82	36	24	92
			実績値	22	82	36	24	23
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
自治功労章贈呈式における長寿記念品受賞者数		人	目標値	96	85	18	30	23
			実績値	96	85	18	30	23
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	自治功労章の対象として認められる職について、平成26年度の改正以降変更はないが、関連法改正等により変更される場合を含め、随時見直しを行う必要がある。コストについては、各支出について可能な限り維持または縮小できるよう努めているが、開催年度によって受章者数が大幅に変わることから一定化することはできない。
見直し・改善内容	これまで当該年に「80歳、90歳、100歳」を迎える自治功労者に長寿記念品を贈呈していたが、80歳以上の新規受章者数が増加していること、また、新規受章者の平均年齢が高くなり、80歳が新規受章した年齢と近接してきていることから、長寿の節目とする意味合いが薄れてきたため、令和3年度から「90歳、100歳」を迎える自治功労者に対象を見直した。 なお、今後も地域に貢献されている方について、自治功労者の対象として認められる職を見直す等、対象者の充実を図りたい。